インターネット依存・ゲーム行動症の基礎と臨床

～明日から活かせるインターネット依存・ゲーム行動症臨床のエッセンス～

＊当財団（講座）は「臨床心理士」資格取得者の研修機会として、（公財）日本臨床心理士資格認定協会より「短期型研修会（ワークショップ）」の承認を受けております。<承認期間：2022 年 7 月 2 日～2027 年 7 月 1 日 承認番号：20210392>

期　　日：2025 年 5 月 24 日（土）
受講対象：教育・医療・相談・福祉・保育の各機関・現場で、子どもに関わる専門家および興味のある方々
定　　員：80 名（定員になり次第締切りますのでホームページでご確認ください。先着順となります）
受 講 料：8,500 円（税込）
主　　催：公益財団法人 明治安田こころの健康財団　TEL 03-3986-7021
会　　場：明治安田こころの健康財団 講義室　※詳細地図は受講証に添付いたします
東京都豊島区高田3-19-10
JR山手線・西武新宿線・東京メトロ東西線「高田馬場駅」より徒歩約7分

＊＊＊企画講師＊＊＊

三原 聡子 先生

独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター
主任心理療法士

ネット依存・ゲーム行動症関連問題は、医療・教育・福祉・産業・司法など、様々な現場で働く支援者にとって、形をかえて現れてくる問題になっているのではないでしょうか。ネット依存・ゲーム行動症は、骨密度の低下や脂肪肝、エコノミークラス症候群といった深刻な身体の問題や、課金や投げ銭による金銭問題、家庭内暴力、不登校や引きこもり、家族の鬱など、多様な問題を引き起こします。また、近年では、小学生の受診など、発症の低年齢化が窺われています。低年齢からのネット・ゲームへの依存は、心身の発達への悪影響に加え、本人の問題意識の乏しさ、充分なエビデンスのある治療法もないことから回復も困難となり、その後の人生に深刻な影響を及ぼします。本講座では、どこからが依存なのか、なぜネットやゲームに依存するのかといった話から、ご本人と関わる際のポイントや、ご家族の支援方法、医療機関、相談機関にオファーする際の留意点、効果的な予防教育、ゲーム行動症に特化した認知行動療法（CAP-G）の模擬体験、架空の事例検討などをお伝えします。それらを通して、様々な形でネット依存・ゲーム行動症関連問題に関わる支援者が、ゲームに依存している人の心理や状態像を理解しながら、明日から自信をもって介入できるようになるエッセンスをお伝えしたいと思っています。

【プログラム】

時 間	テ ー マ
10:00-11:00	講義① インターネット依存・ゲーム行動症の基礎と支援
11:10-12:00	講義② 予防・家族支援
12:00-13:00	昼 食 ～ 各自お取りください ～
13:00-14:00	グループ① 対応に困るケース・場面について考えよう
14:00-14:30	質疑応答
14:40-15:40	グループ② ゲーム行動症に対する認知行動療法グループ模擬体験
15:50-17:00	グループ③ 事例検討・質疑応答

＊カリキュラム・休憩時間等が変更になる場合があります。